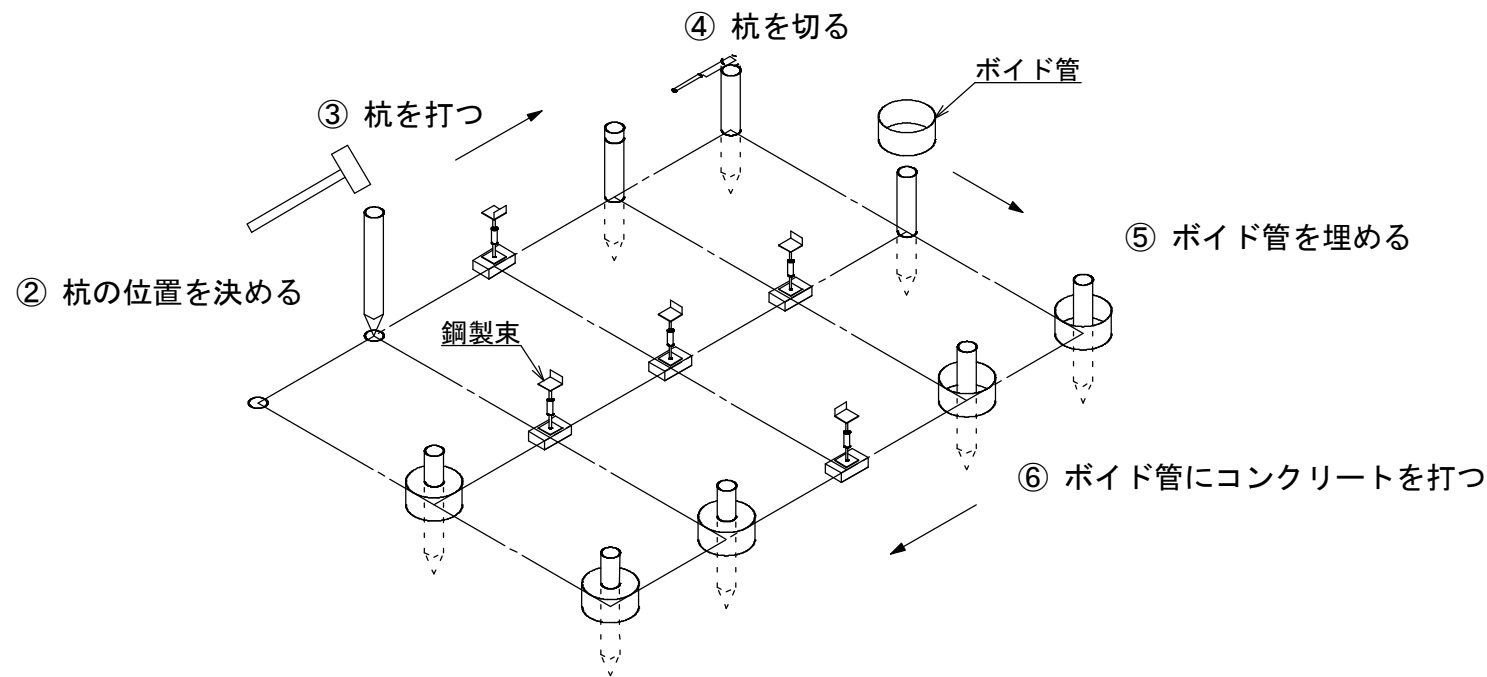


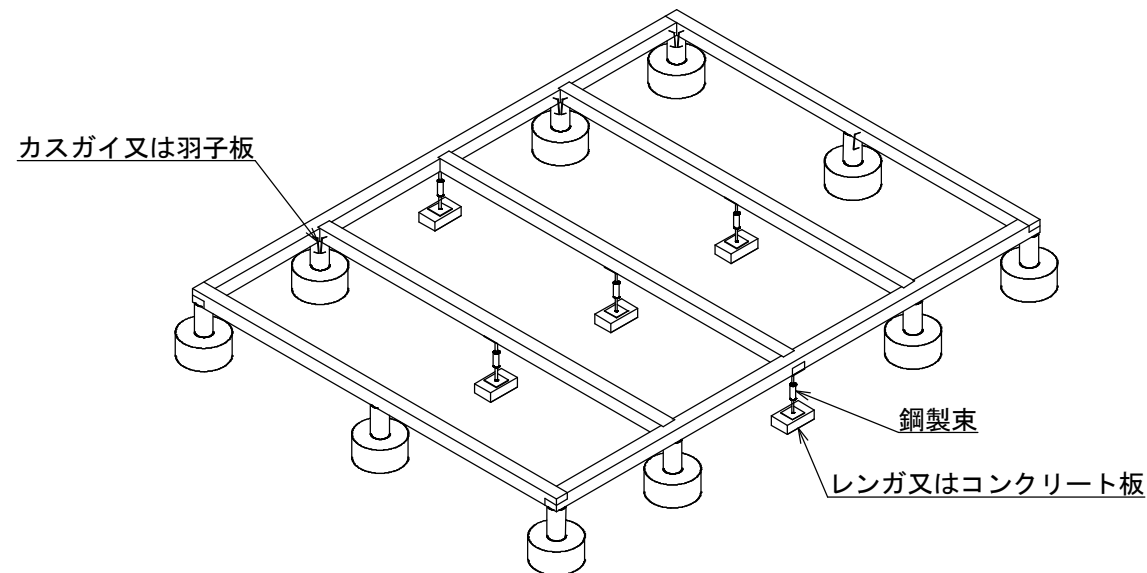
1、杭基礎を施工する。

- ① 建物の位置を決めます。
- ② 杭を打つ場所を、施工図を見て地面に位置決めします。
- ③ 杭を打つ。
- ④ 基礎の高さを決めて、全ての杭が水平になるようにけがきを入れ、鋸で切る。
トランシットを使用するか、無ければ、水道ホースに水を入れて水平を取ります。
- ⑤ 杭の周りを5cmほどの深さに掘り、ボイド管を埋める。
- ⑥ ボイド管の中にコンクリートを打つ。



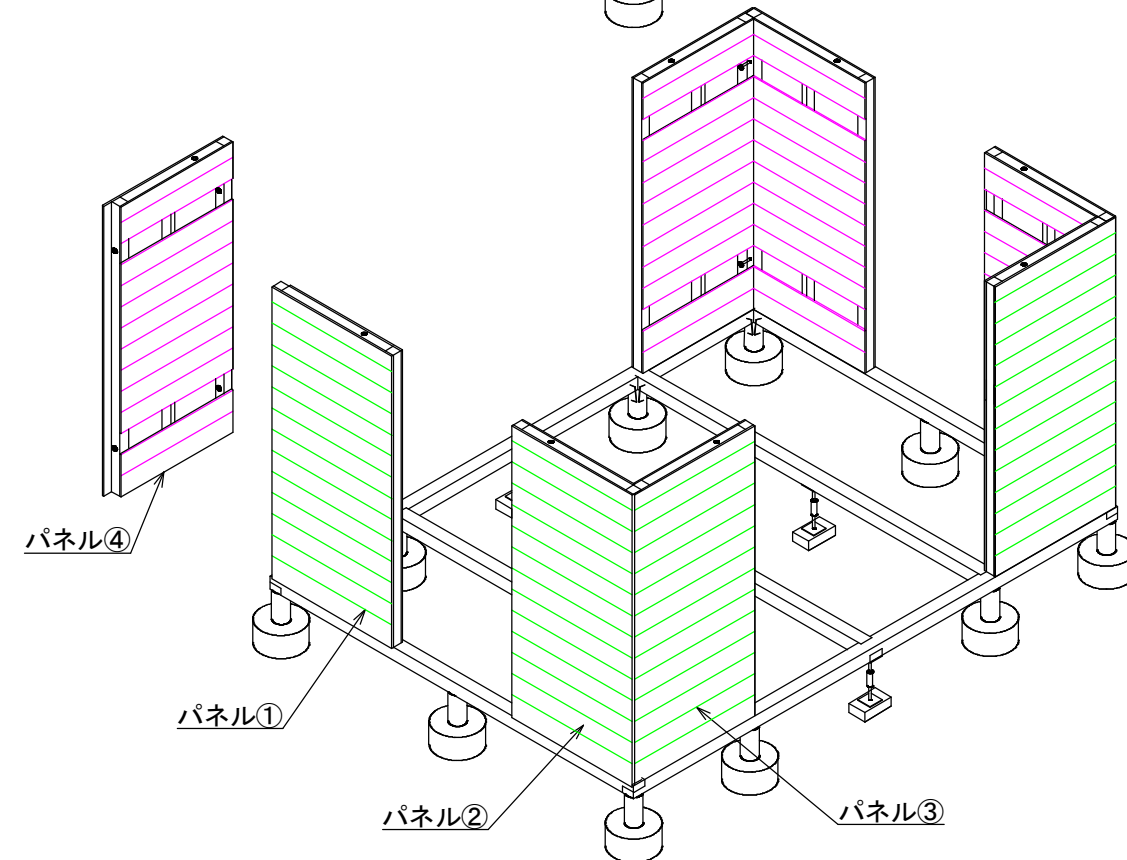
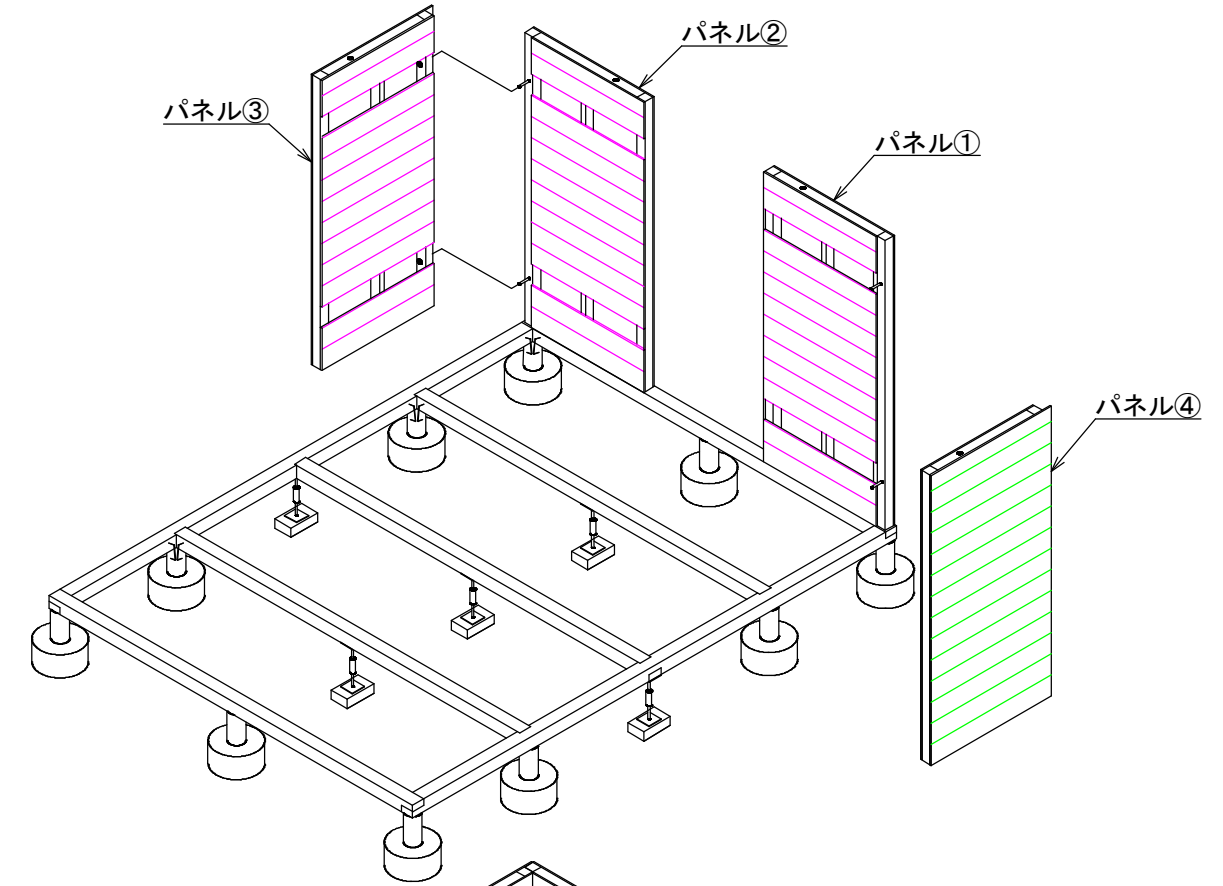
2、土台を基礎に取付ける (基礎、土台施工図を参照)

- ① 土台を杭の上に並べて、組み立てて、コーススレッドで固定する。
- ② カスガイ又は羽子板で、土台と杭を固定する。
- ③ 鋼製束を、設置する。(レンガ又はコンクリート板をご用意ください。)

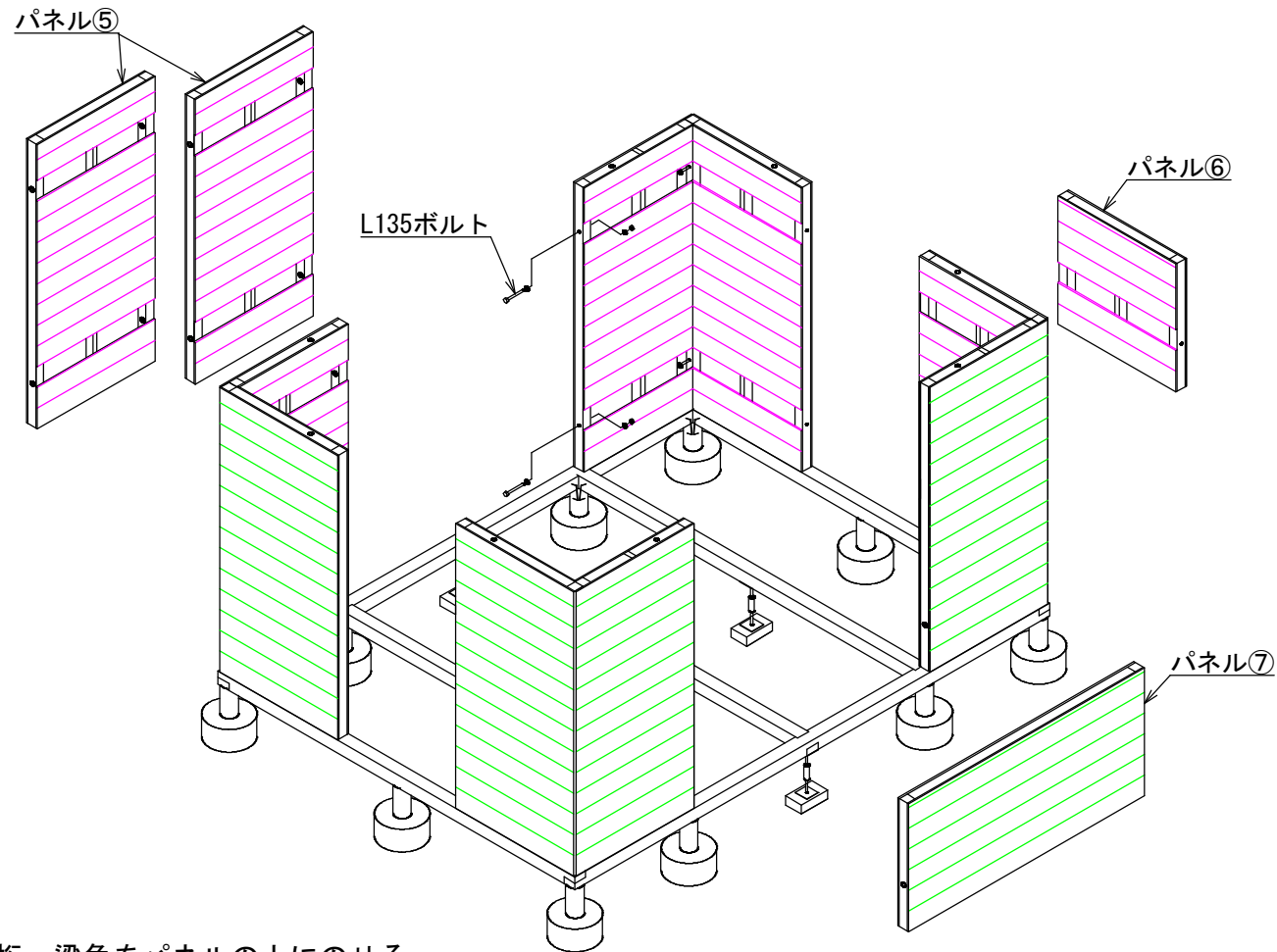


3、壁パネルを土台にのせる。

- ① パネル①から仮止めの羽目板を外し、番付けに注意して土台にのせる。
- ② パネル④から仮止めの羽目板を外し、パネル①のボルトを差し込みながら土台にのせる。
- ③ 丸座金とナットで、パネル①とパネル④を仮止めする。
- ④ 同様にして、パネル②とパネル③を土台にのせ、丸座金とナットで仮止めする。
- ⑤ 同じようにして、反対側のコーナーのパネルも組立てる。

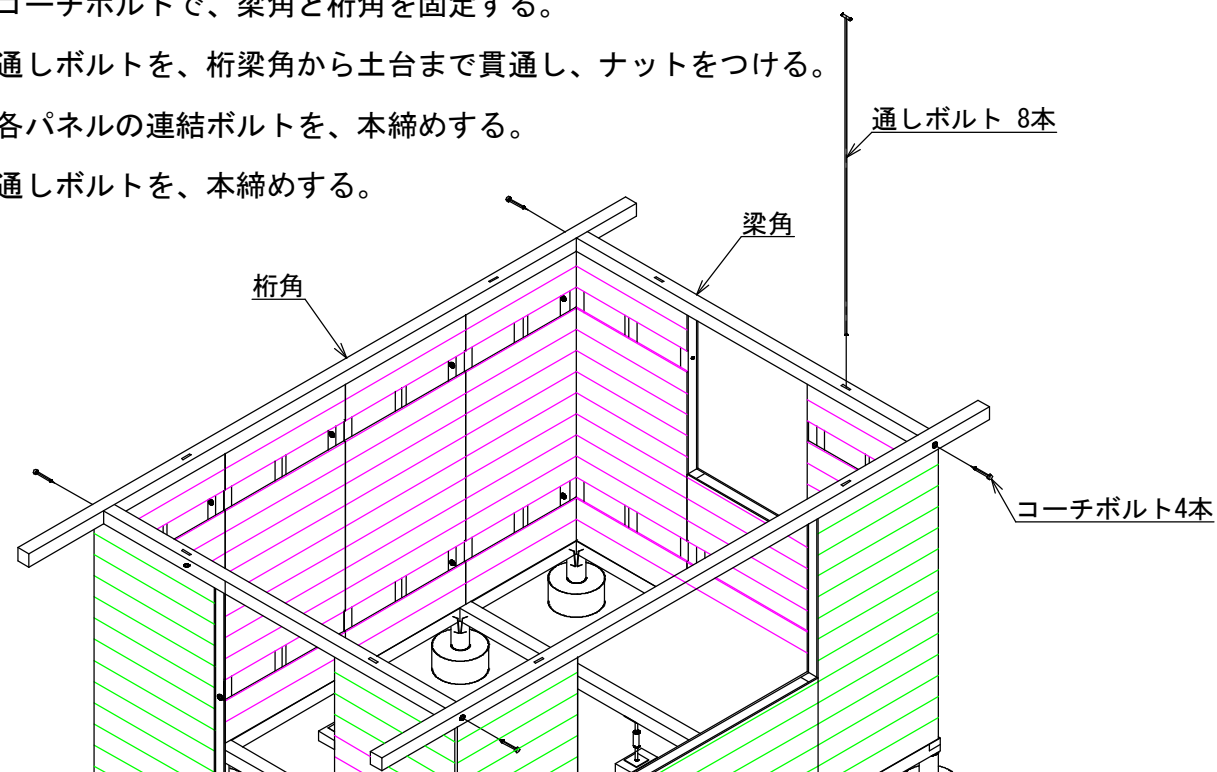


⑤ 残りのパネルを全て土台にのせ、隣同士のパネルをL135ボルトで連結する。



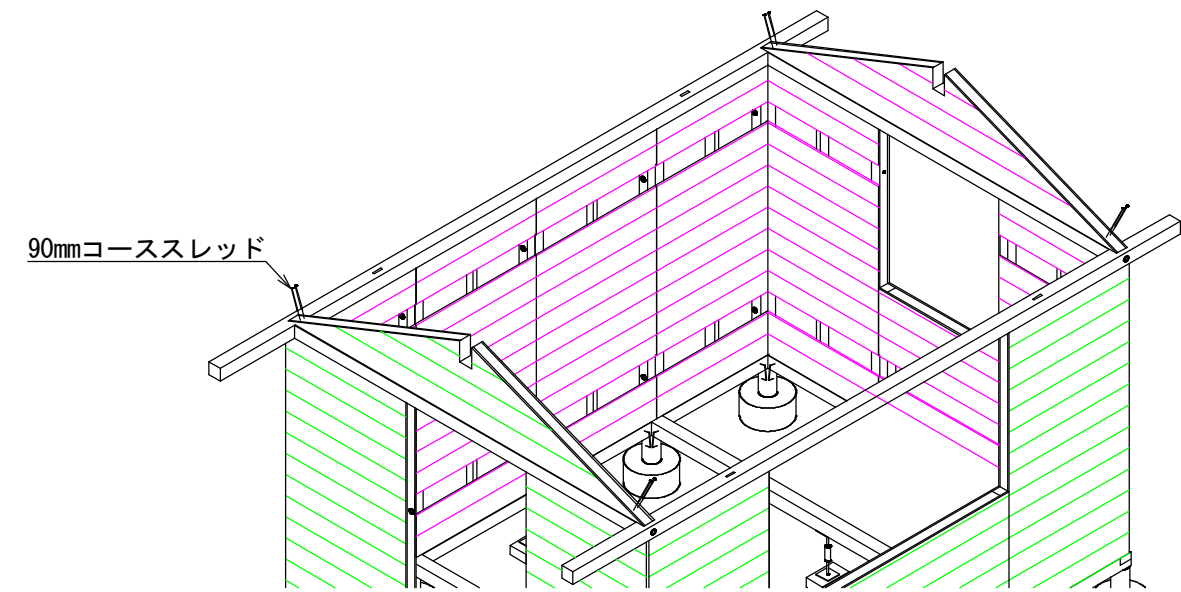
4、桁、梁角をパネルの上へのせる。

- ① 桁角を番付に合わせて壁の上へのせる。
- ② 梁角を桁角の欠き込みに差し込みながら、壁の上へのせる。
- ③ コーチボルトで、梁角と桁角を固定する。
- ④ 通しボルトを、桁梁角から土台まで貫通し、ナットをつける。
- ⑤ 各パネルの連結ボルトを、本締めする。
- ⑥ 通しボルトを、本締めする。



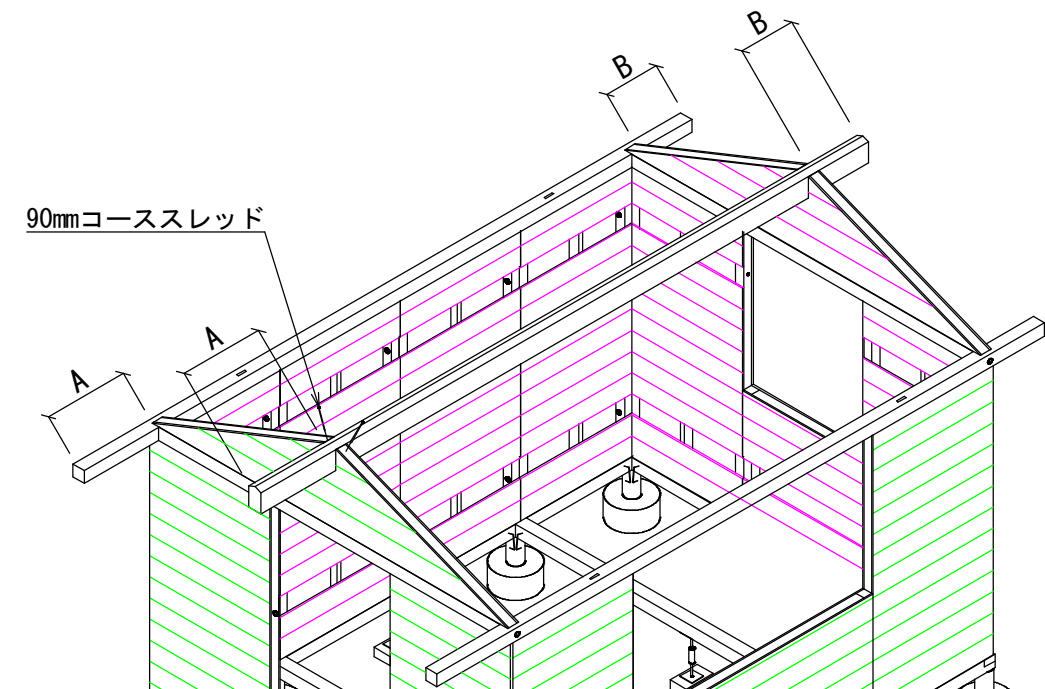
5、妻壁パネルをのせる。

- ① 妻壁パネルを梁角の上に位置決めしてのせる。
- ② 妻壁パネルの両端を、90mmコーススレッド2本ずつで、梁角に固定する。



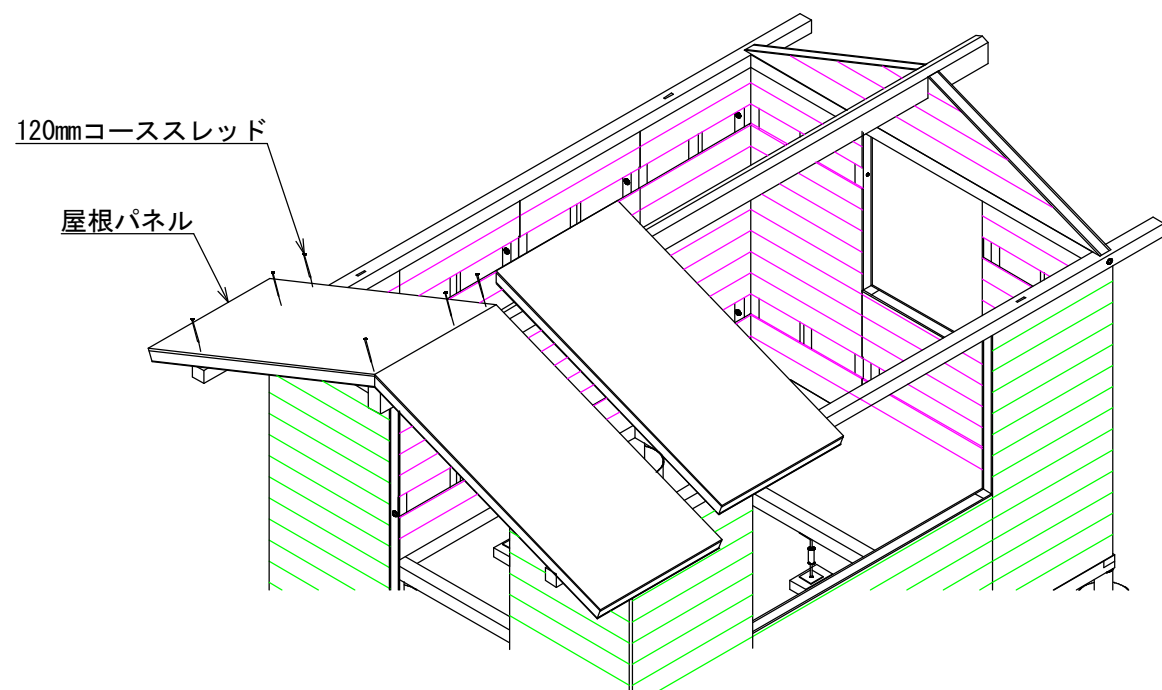
6、棟木をのせる。

- ① 棟木を、壁パネルの切り欠きの中に位置決めしてのせる。
- ② 妻壁パネルの芯から棟木の端部の距離が、桁角と同じ寸法になるように調整する。
- ③ 90mmコーススレッド2本で、棟木と妻壁パネルを固定する。



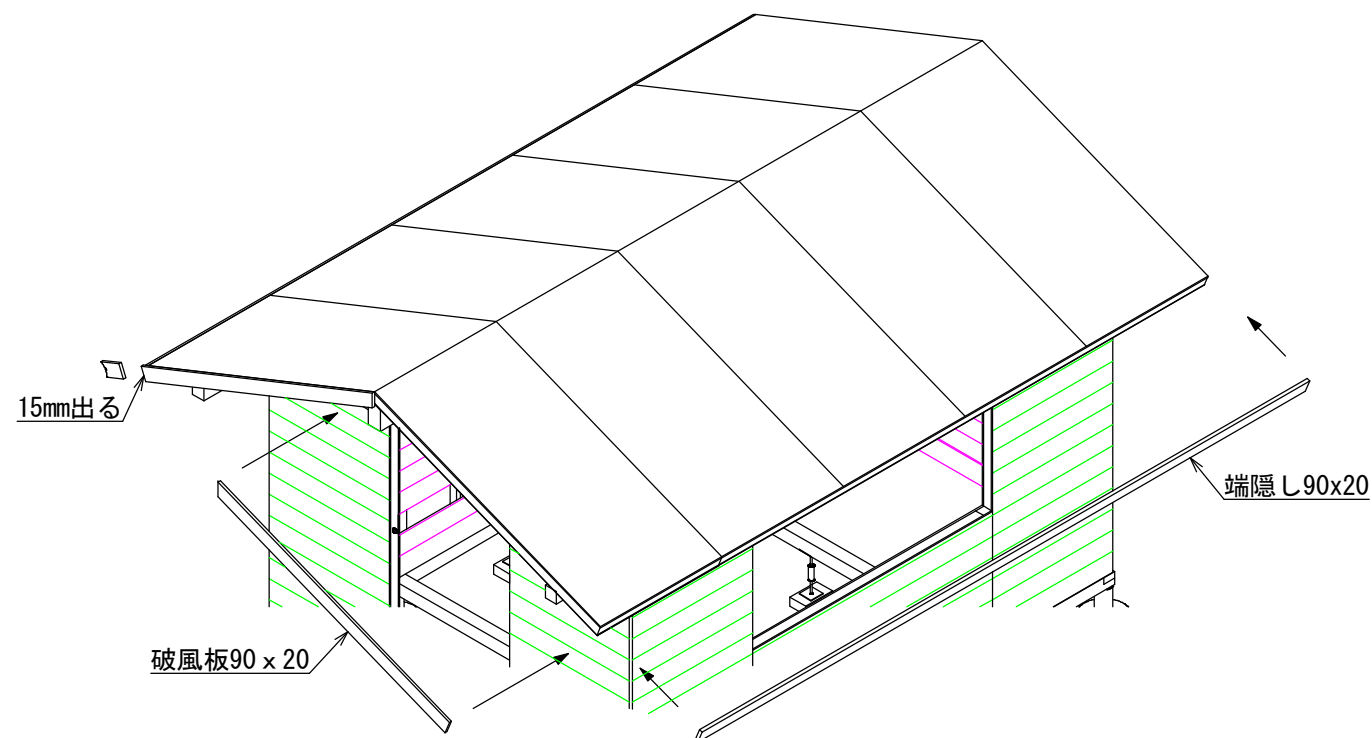
6、屋根パネルをのせる。

- ① 屋根パネルを棟木と桁角の上に、位置決めしてのせる。
- ② 120mmコーススレッドで、仮止めしながら全て並べて見る。
- ③ 棟木、桁角両端との相対位置、棟の拝みの位置が均等になるよう調整し、本留めする。



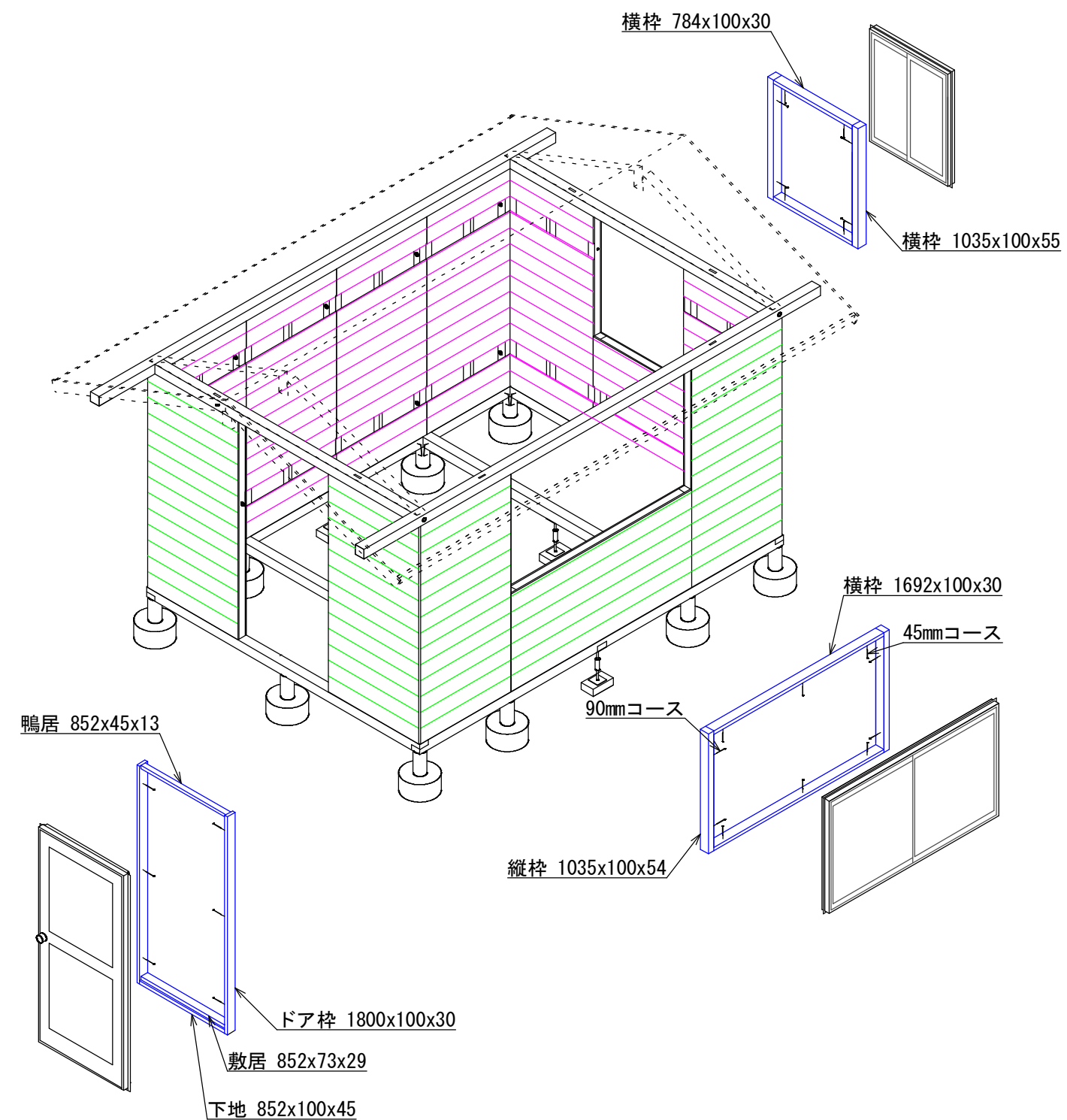
7、端隠し、破風板を取り付ける。

- ① 端隠しを、屋根パネルの軒先に、屋根面と平になるように長いまま、57mmコーススレッドで取り付ける。
- ② 端隠しの両端を、けらばの垂木面にそろえて切る。
- ③ 破風板を、ケラバに屋根面と平になるように、長いまま取り付ける。
- ④ 破風板を、端隠し面より15mm出る位置で切る。



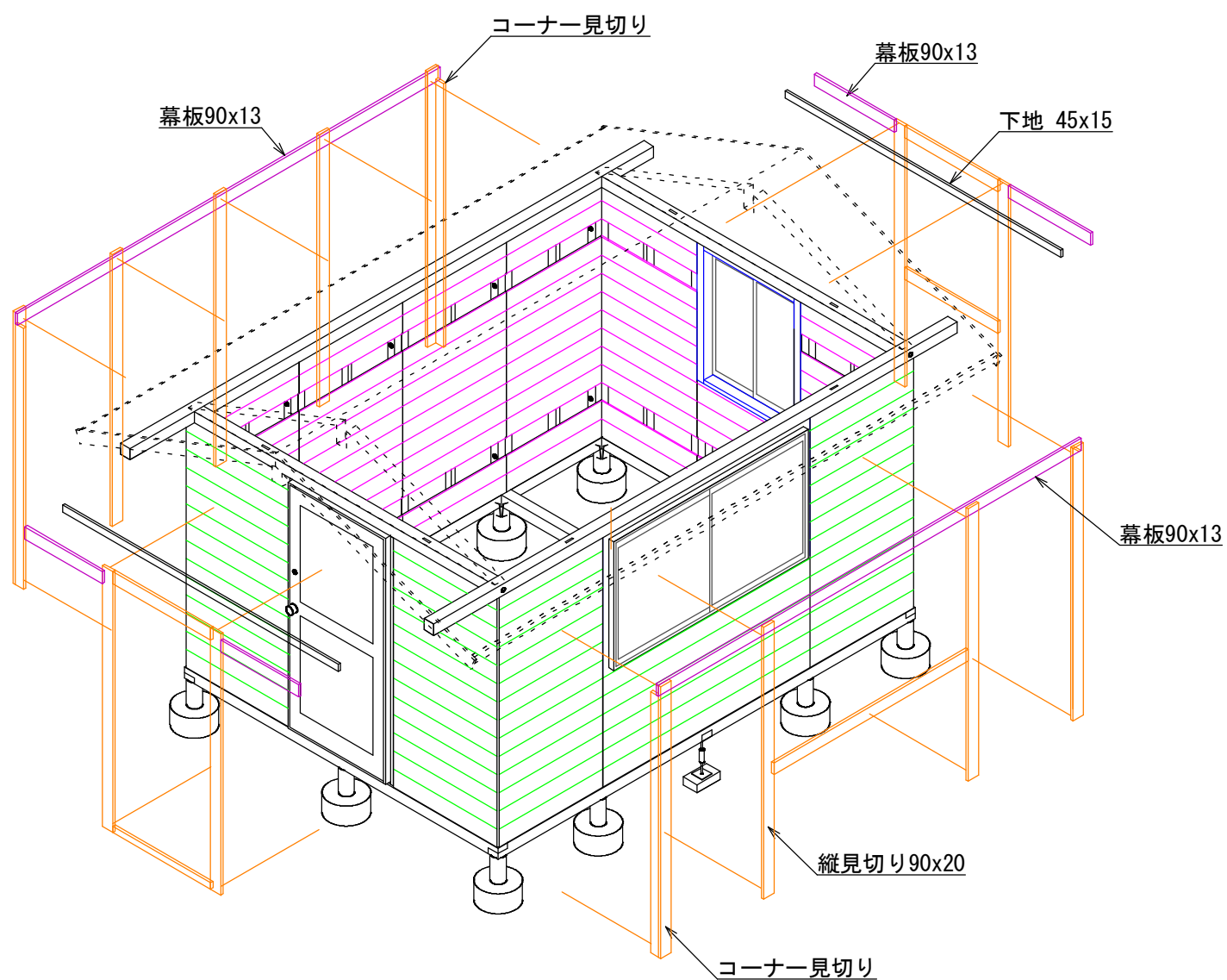
8、建具枠、アルミサッシを取り付ける。

- ① 縦枠を、壁パネルの外壁面に合わせて、コーススレッドで取り付ける。
- ② 下枠を壁パネルに、上枠を桁梁角に、それぞれ縦枠に合わせて取り付ける。上枠、下枠が緩い場合は、通しボルトを緩めて、パネルを左右から寄せる。
- ③ アルミサッシを、アルミサッシ付属の説明書に従って、建具枠に取り付ける。
- ④ 障子をはめ、動作を確認する。



9、外部見切りを取り付ける。(外部仕上げ図を参照して作業してください。)

- ① 桁の幕板 90x13を、取り付ける。
- ② コーナー見切りを、90x20と70x20を組合わせて、4か所分を組み立てる。
- ③ コーナー見切りを、取り付ける。
- ④ 梁角見切りの下地 45x15を、取り付ける。
- ⑤ 出入口と窓の縦見切りを、取り付ける。
- ⑥ 出入口、窓の横見切りを、縦見切りの間隔に合わせて切断し、取り付ける。
- ⑦ 梁角の幕板を、長さに切って取り付ける。



10、床組の施工 (床、ドア部の施工図を参照)

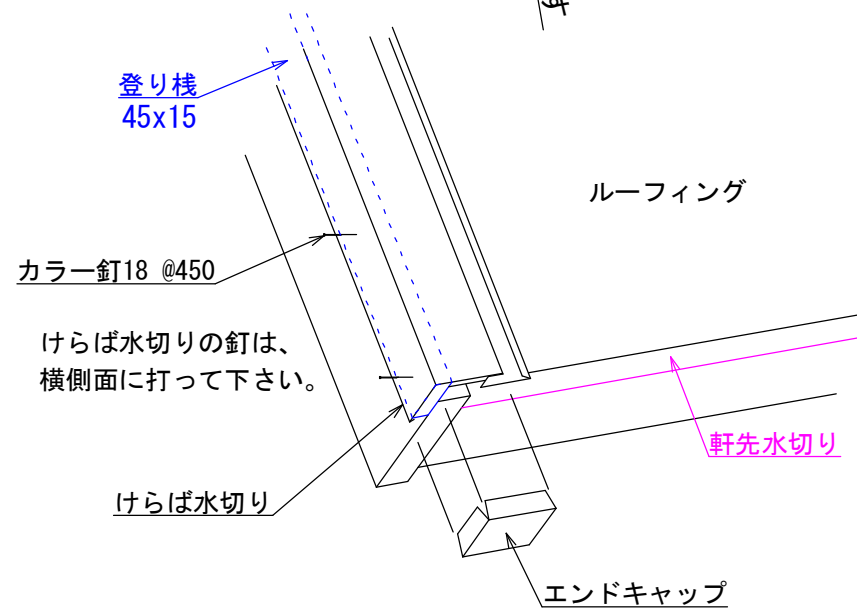
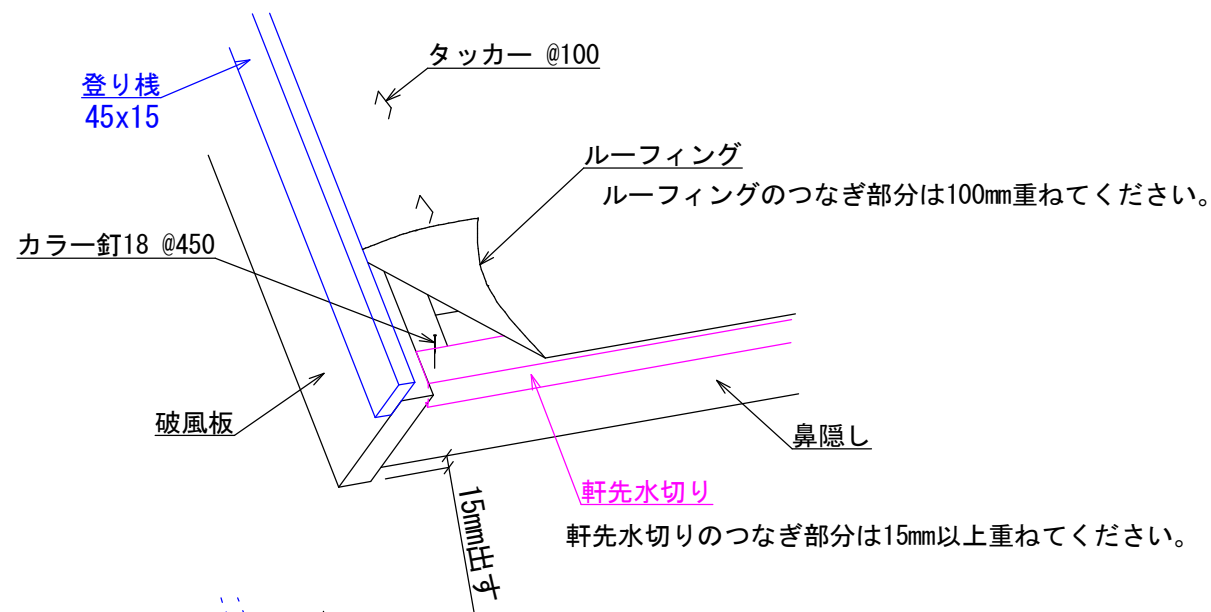
- ① 根太掛け 60x30を、土台側面に大引 90x90と同じ高さに取り付ける。
- ② 根太 45x45を、303ピッチで土台上面に並べ、90mmコーススレッドで取り付ける。303ピッチを守らないと、合板が打てなくなりますので、気をつけてください。
- ③ スタイロフォームを根太の間の寸法にカットし、はめ込む。
- ④ 床合板を垂木中心でつなぐよう寸法に注意して切断し、並べる。
- ⑤ 床合板を、45mmコーススレッドで、150mmピッチで固定する。
- ⑥ 床仕上げ材を施工する。(仕上げ材の厚さによっては、出入口サッシの高さを上げる。)

11、 内部見切りの取付け (内部仕上げ図を参照して作業してください。)

- ① 各パネルの羽目板を、長さを間違えずに取り付ける。
- ② 羽目板を、18mmビス3本にて固定する。
- ③ 縦見切り40x13 7本を、壁の高さに現合で合わせて切る。
- ④ 縦見切りを、壁のつなぎ目を隠すように、18mmビス3本にて固定する。

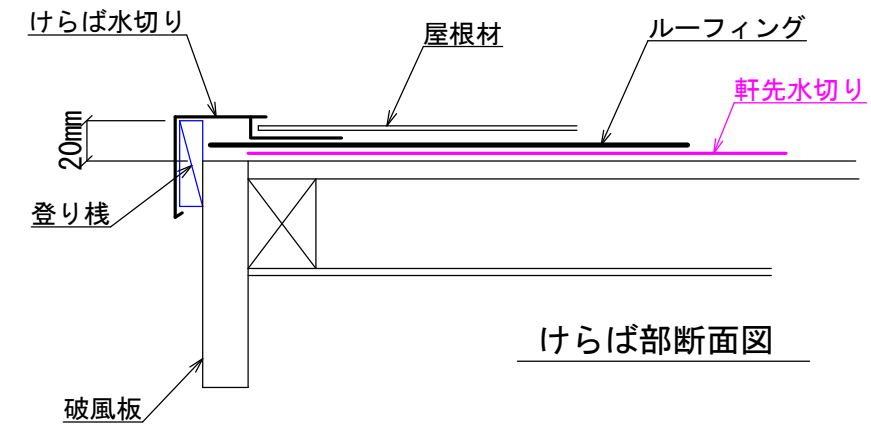
次の順番に施工していきます。

- 1、軒先水切り（カラー鉄板）を取付けます。
- 2、ルーフィングを貼ります。
- 3、登り棧45 x 15を取り付けて、けらば水切り（カラー鉄板）をつけます。

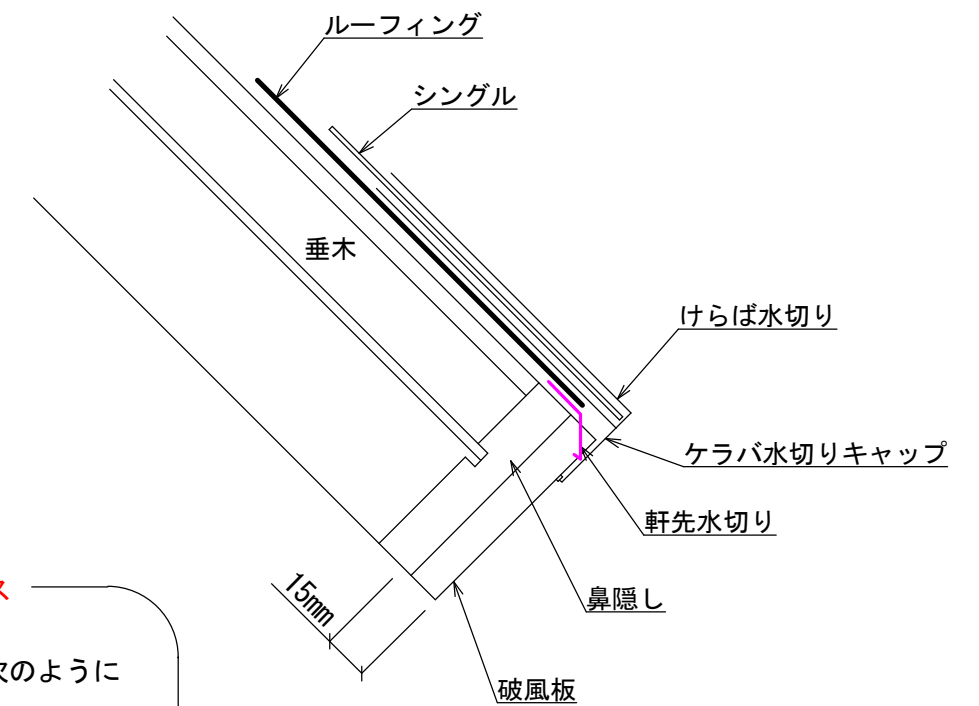


けらば水切りのつなぎ部分は15mm以上重ねてください。
上位の水切りを、下位の水切りに乗せて重ねてください。

水切りとルーフィングの重ねる順番に気をつけてください。
(ルーフィングの上に、軒先水切りをのせないで下さい。)



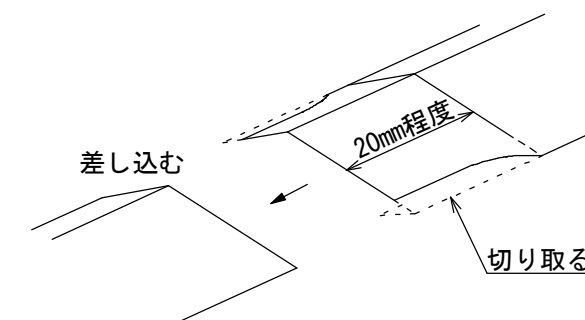
けらば部断面図



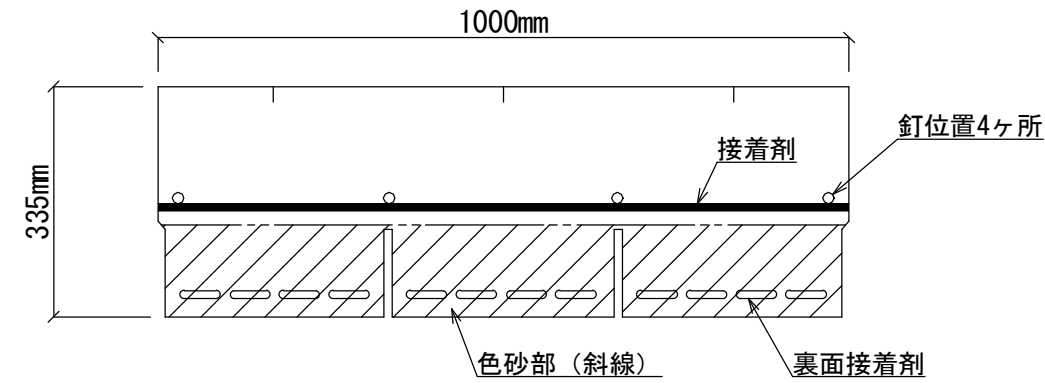
軒先部断面図

ワンポイントアドバイス

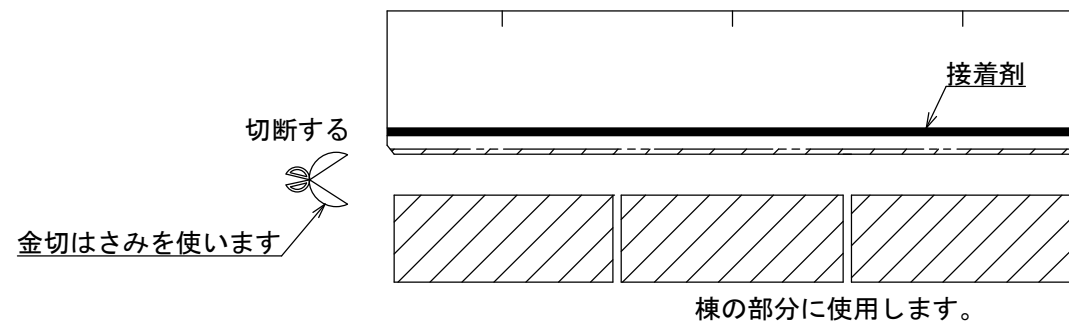
水切りを重ねるときは、仕口を次のように加工すると、うまく納まります。



シングル本体



1、スターターを作る

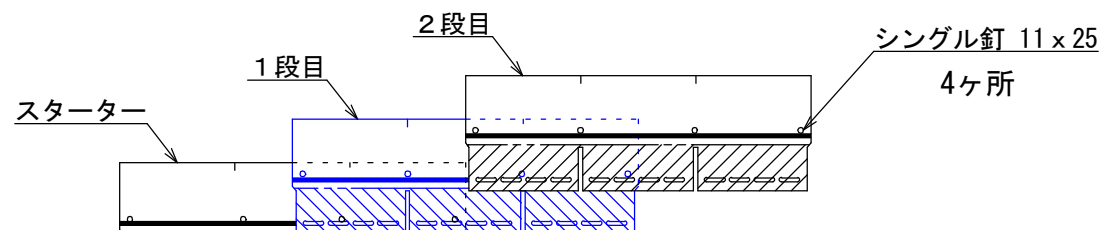


2、シングルを貼る

シングルは、釘で野地板に固定されると同時に、シングル同志が接着材によって接着されるようにできています。

したがって、必ず裏面の接着剤の保護フィルムを剥がしてから、貼り付けます。

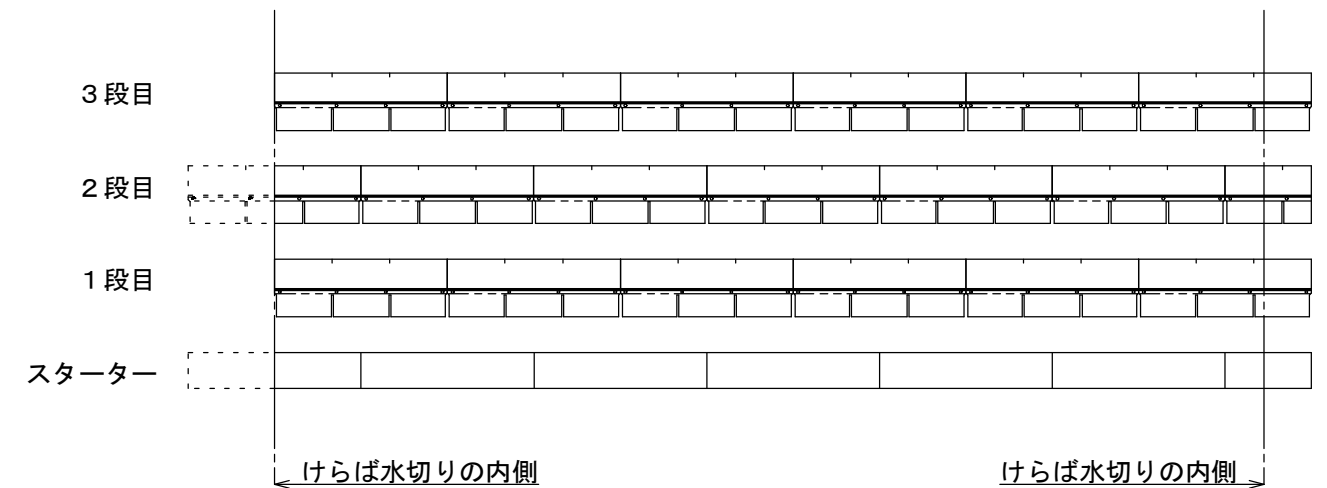
釘は、必ずシングル釘 11 x 25を使用してください。



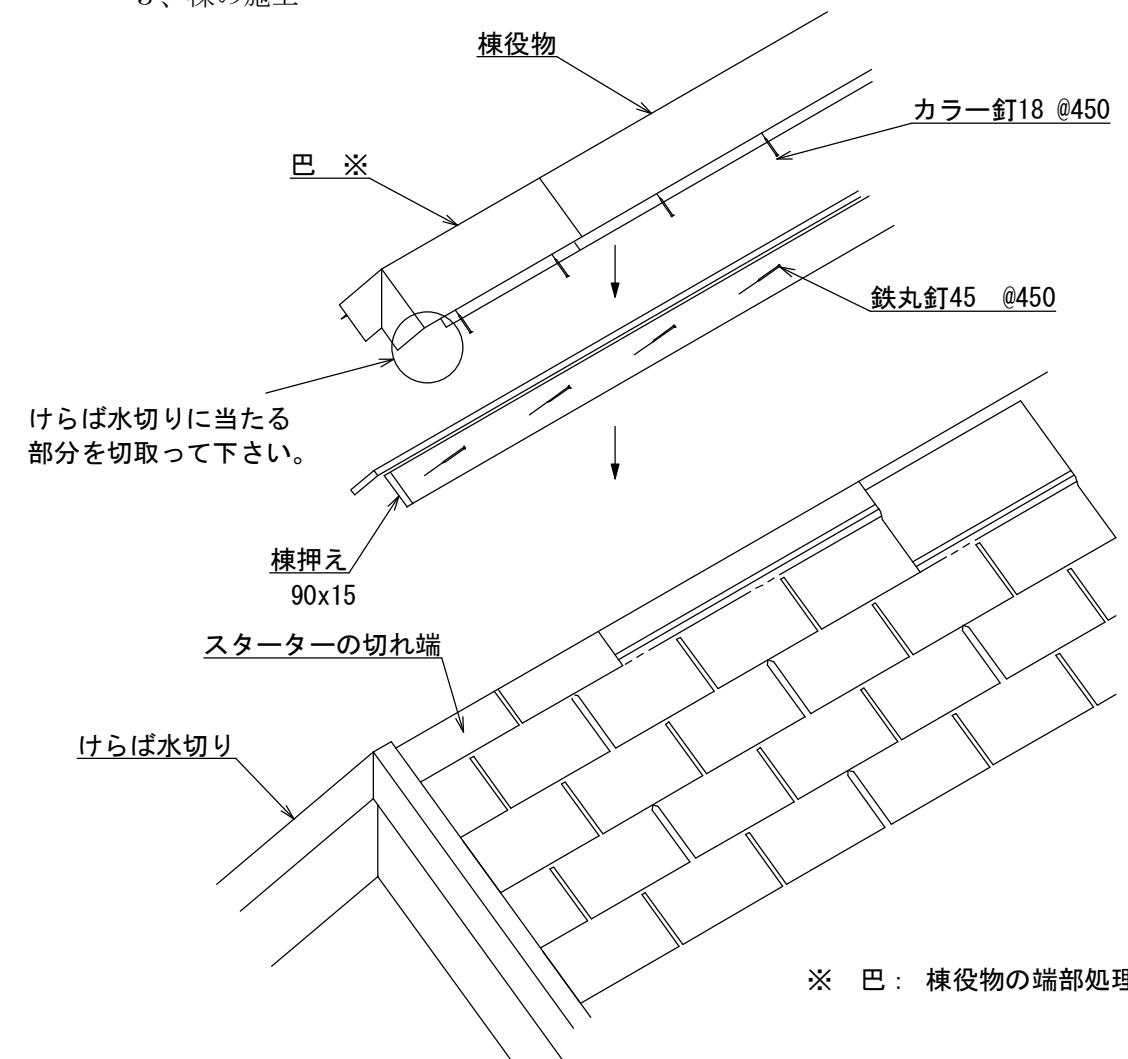
次の図のように、シングルの割付を決めてシングルを張っていきます。

色砂部が小さい切れ端にならぬよう、割付けに配慮します。

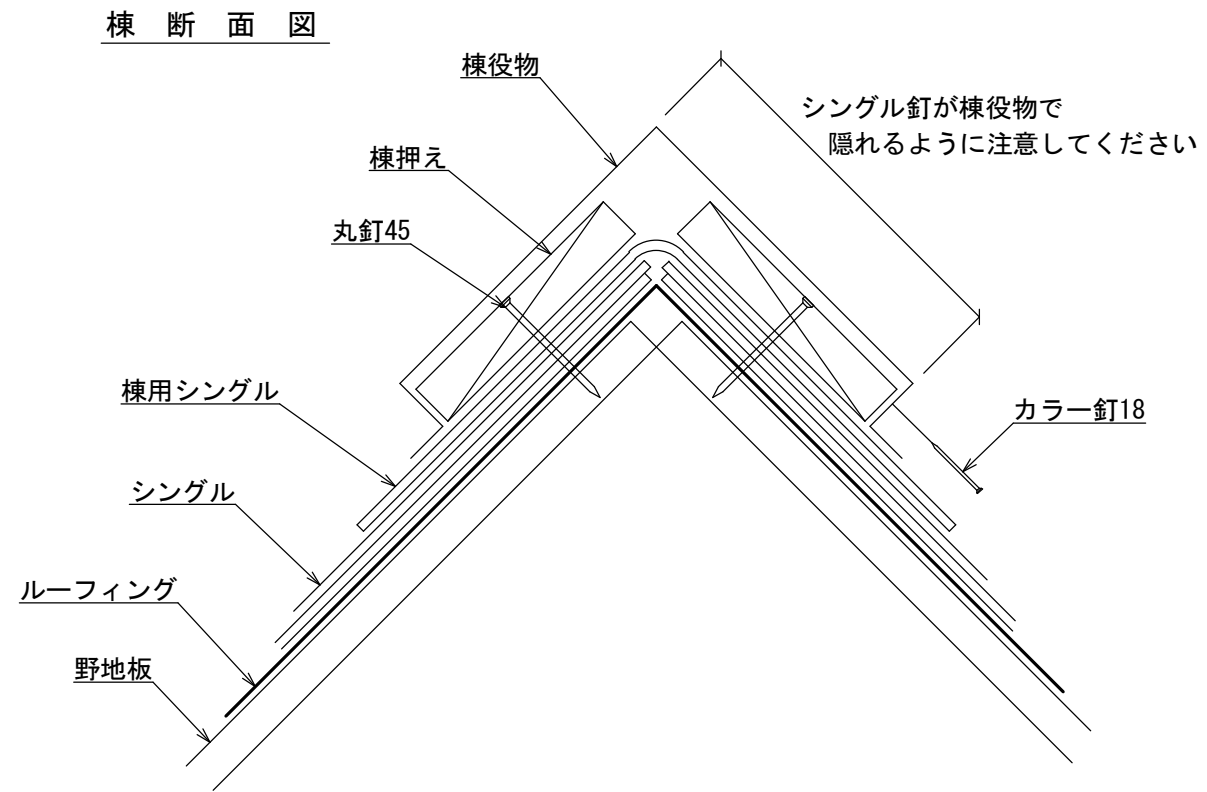
左右の短部のシングルを切断する前に、2段目までを並べてみるのが最も確実です。



3、棟の施工



※ 巴：棟役物の端部処理したもの



4、最終確認

施工が終了しましたら、次のことを確認します。

- 1、シングルに破損、めくれ等がないこと
- 2、釘が見えていないこと
- 3、板金がしっかり固定されていること（手で触って確認する）

OKでしたら、屋根工事は完了です。